



さいたま市議会議員

市政レポート

# かみさか たつあき



Vol. **39**  
2015 秋号

発行：さいたま市緑区三室 89-19 TEL 048-829-1812 FAX 048-831-2778

## 高齢者を狙った詐欺被害にご注意を！

### 詐欺被害STOPについて 市の対応を質しました。

平成26年度、市内で高齢者を狙った特殊詐欺(オレオレ詐欺・架空請求・融資保証金・還付金等)の被害は225件、6億4335万円。悪質商法(劇場型勧誘・点検商法)等の被害も含めると総被害件数は239件、被害総額は10億1410万円となっています。

増え続ける高齢者を狙った詐欺被害を防止するためにも新たな対策の必要性について市の対応を質しました。

	認知件数	被害総額
平成24年	108件	1億6540万円
平成25年	129件	2億5453万円
平成26年	225件	6億4335万円



## 消費生活相談は188番へ

悪質商法や製品事故などに関する消費生活相談を受ける消費者ホットラインが7月1日から「188」で、最寄りの消費生活センターにつながるようになりました。

「嫌や! (いやや)」との語呂合わせで周知されています。消費者庁は「泣き寝入りすることなく、積極的に相談してほしい」としています。

## 平成27年9月定例会が閉幕しました。

さいたま市議会、9月定例会が閉幕しました。会期は9月2日から10月16日までの45日間。



定例会では、予算委員会並びに市民生活委員会に係る、議案の審査をおこないました。

本会議では会派を代表して、補正予算、議員提出議案に対する賛成討論に立ちました。

また、市民生活委員会では議案外質問をおこなうとともに、副委員長として円滑な委員会運営を目指し、縁の下の力持ちとして働かせていただきました。

## 各種業界団体と意見交換会を実施

公明党さいたま市議会議員団(11名)で、来年度の予算要望にあたり、各種業界団体との意見交換会を開催しました。

現状の課題等について率直なご意見を伺いましたので、検討し、市政に反映してまいります。



## 平成 28 年度予算編成並びに施策に対する要望書を提出。



平成 27 年 10 月 16 日（金）、清水勇人さいたま市長に対し、平成 28 年度予算編成並びに施策に対する要望書を提出しました。

今回の予算要望は、10 分野から構成をされており、市民ニーズに積極的に対応するため、従来からの行政の発想を一步進め、最優先で取り組むべきと考える 182 項目を記載しました。

さいたま市は人口 126 万人を擁し、国内でも有数都市として発展していますが、人口減少・超高齢社会の到来は避けて通ることのできない課題です。本市の総合基本計画・基本構想の都市づくりの基本理念である「だれもが住んで良かった、住み続けたいと思える都市の実現」をめざすためには、特にシニア世代や女性の活躍を応援し、地域社会の活力を生む施策が必要なのではないのでしょうか。

「市民がしあわせを実感できる都市」、「選ばれる都市」として、持続的な発展を可能とする新年度予算と施策が編成されることを願いつつ、要望書を提出させていただきました。

## 中小企業緊急特別資金融資【年末対応】の実施について

さいたま市では、市内中小企業の円滑な資金調達を支援するために緊急特別資金融資を実施します。今年度は、融資総額 50 億円とし、利率を年 0.9%としております。

### 《制度の概要》

- 【制度名称】           さいたま市中小企業緊急特別資金融資（年末年始対応）
- 【申し込み期間】   平成 27 年 11 月 9 日（月）から平成 28 年 1 月 15 日（金）まで。ただし、申請金額が融資総額に達した時点で締切りとします。
- 【資金使途】           運転資金
- 【申請限度額】       3,000 万円
- 【返済期間】         5 年以内（6 ヶ月以内の据置期間含む）
- 【利率】               年 0.9%
- 【問合せ】           公益財団法人さいたま市産業創造財団 支援・金融課（金融担当）  
048-851-6391 まで

